

労働安全衛生向上や腰痛・ギックリ腰などの予防に

作業解析ソリューションErgoLife

作業者の労働安全衛生の向上や、最大の職業的疾患である腰痛やギックリ腰（労働関連筋骨系障害）を予防するソリューションがErgoLife（エルゴライフ）です。モーションセンサにより、労働リスクを数値化、視覚化し高リスクの作業を簡単に特定できます。取得したデータは作業者間、及びチーム内で共有可能です。



労働リスクの数値化



モーションセンサにより、労働リスクを数値化、視覚化します。

MSDs発生リスクの特定

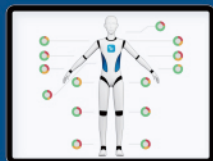


数値化され、カラー表示されたグラフで高リスク作業を簡単に特定できます。

気づきとチーム共有



数値化データは潜在的なリスクをも気づかせてくれます。また、データは作業者間、チーム内でも共有可能です。



作業現場の危険性を特定するシンプルでわかりやすいツールは、高精度かつ信頼性の高いアセスメントをすぐに提供できます。

従業員の保護

気づきからリスク防止まで、作業現場を含め作業環境を改善します。

業績への貢献

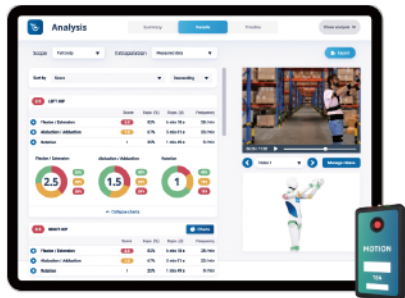
組織的なリスクを特定し、長期間に亘るリスク防止戦略を支え、労災コストを削減します。

労働関連筋骨格系障害

労働関連筋骨格系障害 (MSDs)・・・労働作業における腰痛やギックリ腰に代表されるのが労働関連筋骨格系障害疾患であり、これは非常に高いレベルで作業環境における作業者の身体的負荷として存在しているばかりでなく、ストレスなどの心理的負荷など様々な心理・社会的要因となり、一つの社会問題として、近年特にフランスをはじめとするEU各国でその対策が注目されています。

労災を客観的、科学的に分析するというフランス安全研究所の技術移転での企業フランスTEA社は、30年超の長年に亘り作業現場アセスメント、効率化に各種センサなどを使い取り組んでまいりました。

この科学的、客観的な手法をより手軽に、実際の作業現場でも取り入れて頂き、作業者の労働安全衛生の向上や、また、最大の職業的疾患であるいわゆる腰痛やギックリ腰 (=労働関連筋骨格系障害) を予防するソリューションがErgoLife (エルゴライフ) です。



ElgoLifeの使い方



① レシーバを検出します。



② センサとそのバッテリー残量を検出します。



③ 磁気環境を検証します。



④ センサをとりつけます。



⑤ 作業内容と作業者を入力します。 ※匿名可



⑥ 測定前に基準姿勢をとります。

パッケージ内容

モーションセンサ	上半身版9個/全身版 15個
レシーバおよびUSBケーブル	各1個 PCあるいはタブレットPCへ直接接続し、外部から電源は不要のため、現場では自立した動作が可能
ストラップ	1式 ノンスリップコートで快適に作業着へのセンサ装着が可能
充電機能付きキャリングケース	1個 アクセサリ・保護フォーム付き

